

モノづくりを考える! 第51回

進取果敢な精神で先を見据えて動く

株式会社岡田製作所 東大阪市柏田西1-14-15



岡田昌 代表取締役



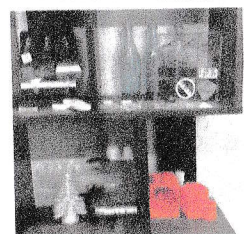
昌氏が専門学校を出たころの外国為替は1ドルが80円、90円。円高不況、さらに金融企業が破綻する時代でもあった。彼の

「印象に残っていることは9年前の火事。朝、隣接する工場から出火。煙が立ち上り工場は全焼。間借りでプレス機を動かした。3カ月で工場建屋を作り、操業を再開。ある商社は発注を増やしてくれた。思い出せば皆さんの温かさに助けられ、今がある。」と語るのは岡田製作所の岡田昌代表取締役。

戦後、祖父が起業し、鯉のぼりの回転球や刀の鞘などの節句ものや車のマットの留め金の金属加工をしていた。父は建築金物を扱い新型プレス機を導入した。ケガすることはなくなり、品質が向上し、顧客の信頼度も上がった。プレス以外の仕事を依頼されることもあった。

昌氏が専門学校を出たころの外国為替は1ドルが80円、90円。円高不況、さらに金融企業が破綻する時代でもあった。彼の

「印象に残っていることは9年前の火事。朝、隣接する工場から出火。煙が立ち上り工場は全焼。間借りでプレス機を動かした。3カ月で工場建屋を作り、操業を再開。ある商社は発注を増やしてくれた。思い出せば皆さんの温かさに助けられ、今がある。」と語るのは岡田製作所の岡田昌代表取締役。



棚に並んだ製品見本



岡田製作所
公式WEB

「コロナ禍の中で金属面に微細な加工ができるレーザーマーカーや、非金属材料を高度に切断・彫刻するレーザークッター、そして3Dプリンターを導入した。前者2つのレーザ加工機から生まれる製品は現在、ノベルティ・グッズ（販促贈呈用品）として販路を拡げている。社長自ら図面を起こし、3Dプリンターで試作品を作る。それを手にしながら

「岡田さんの所でできなかつたら諦める。」この言葉をどれだけ聞いたであろうか。20代半ばから、工場の「駆け込み寺」となることを意識してきた。転ぶときは一緒に転ぼう、転ぶことを恐れない、と決めて向き合う。掌サイズから10倍を超える大きなものまで、半世紀を超える実績がある。その上に立つて進取果敢な精神で先を見据えている昌氏。その名刺はアルミ材にアルマイト処理して、フアイバーレーザーマーカーで印字したものである。

（工場を記録するへ、工場兄妹、妹の真理子）

河内新聞

大阪地方紙

発行所

株式会社 河内新聞社

【本社所在地】〒579-8043

東大阪市客方町 2-15

TEL 072-929-8539

FAX 072-929-9260

info@kawachi-shinbun.jp

【八尾・柏原支社】〒581-0086

八尾市陽光園 1-9-15

【羽曳野・藤井寺支社】〒583-0882

羽曳野市高鷲 10-14-4

【京阪支社】〒570-0002

守口市佐太中町 6-15-44

TEL/FAX 06-7712-6918

おかげさまで創刊 70 年

八尾・東大阪・柏原

羽曳野・藤井寺・京阪

河内新聞社 検索

www.kawachishinbun.com